

1 目 的

本規格書は、北宇都宮駐屯地で調達する糧食品の品質及び形状等について規定し、継続的な衛生的かつ均一な糧食品の取得を目的とする。

2 規格書の構成

本規格書の構成は、「第1章 総 則」「第2章 索引表」及び「第3章 規 格」で構成する。

第 1 章 総 則

1 規格書の記述態度

本規格書に示す糧食品の品質(鮮度・光沢・質・味覚等)についての細部は記述してはいないが、社会一般の商通念に基づくものとし、国の関係法令に準拠したものでなければならない。

2 納品時間(基準)

(1) 納品曜日 月・水・金

(2) 納品時間 0830～1130までとする(パン・弁当は除く)

ただし、官側が納入時間を指定した物は、それに従って納入する。都合により指定時間までに納入出来ない場合は、契約担当官及び給食担当官(給食班長)に連絡する。

3 納入要領

(1) 要冷蔵品は保冷車にて納入のこと。

(2) 冷凍品は冷凍車にて納入のこと。

(3) 加工品は一品ごと同一メーカー製品とすること。

(4) 加工品は一品ごと同一の品質保持期限(賞味期限)の物に限る。

(5) 食品を直接包装し、また梱包する材料にはPCB(ポリ塩化ビフェニル)を使用してはならない。

(6) 空容器(発泡スチロールを含む)は速やかに各業者が責任をもって回収し、持ち帰ること。

(7) 品名、内容量、賞味期限・消費期限・品質保持期限等はわかりやすく表示すること。

4 本規格書の適用

本規格書は、北宇都宮駐屯地で調達する糧食品について適用する。本規格書の適用の時期は、官側が実施する衛生検査及び受領検査時において適用する。

5 検 査

(1) 納入業者は納入の都度、官側の実施する食品衛生検査及び受領検査を受検し、品質確認を受けなければならない。食品衛生検査受検要領の細部は官側との調整による。

(2) 食品検査及び受領検査において不合格の判定を受けた糧食品は、速やかに納入業者負担で良品と交換するものとする。

(3) 納入糧食品で、病理学検査を要する事態が発生した場合は、納入業者の責に起因するもの場合は、納入業者の経費負担とする。細部は、官側との調整にする。

6 本規格書に記述していない糧食品の規格

流通機構の充実・拡大の中にあって食材・食品の多種多様化が加速的に進んでいる現状では、細部の食材・食品までを規格書に網羅することは極めて困難であることから、本規格書に記述していない糧食品については別に示す。

7 官側の検査と規格書の関係

糧食品を納入する際に、官側が実施する食品衛生検査及び受領検査は、関係規則に準拠した正当な行為であり、前記検査に合格した糧食品でなければならない、その判定基準は、前第1項及び「第3章 規格」によるところである。

8 この規格書に疑義がある場合は、速やかに官側に通報するものとする。